～絞り染め・ろうけつ染め・ステンシル　製作手順例～

絞り染めをやってみよう！

絞り染めフリーセットの場合

1 下絵

① 図案を写す。
② 消えるマーカーペンで淡く下絵を描く。

2 縫い方

① 面を表現する巻上げ絞りは玉どめした１本糸で（糸は20番手）下絵の上を約３mm針目で時計回りに縫い１０ｃm以上残して切る。
② 線を表現する引き締め絞りは必ず２本糸で玉どめして縫い１０ｃm以上残して切る。
③ 角形は角から糸入れ角で終る。

3 絞り方

① 巻上げ絞りは糸を引き、裏に出た布を表に針で引き出す。
② 引き締めた糸で縫い目の上を3回かたく巻いて、上に巻き上げて巻き下ろし止める。
③ 引き締め絞りは、糸を引き締める。
④ 糸を分けて蝶結びし、更に固結びする。

4 水に浸す

絞った布を水に10分間位浸す。

5 染め液を作る

① 30℃以上の温水に塩を加え良くかき混ぜる。
② 別の容器に染料を熱湯で溶かして入れる。

6 浸し染め

① 水に浸した布を染め液に入れてかき混ぜながら約２０分染める。
② 絞りと絞りの間が染まる様に布を広げて染める。
③ 染め終わったら取り出し水洗いする。

7 ソーピング

染め終ったら取り出して水洗い後、台所用中性液体洗剤入りの水で5分間洗う。

8 仕上げ

① 水洗い後、ミカノール（別売り）を加えた水（30℃）に40分浸し、水ですすぐ。
② かげ干し後、乾いたら糸をとり、アイロンをかけて仕上げる。

実習に必要なもの（p144参照）

●学校で準備するもの…40名を基準として

①消えるマーカーペン	40本
②染色器（25ℓ）	セットにより２～４コ位
③耐熱容器（１ℓ位）・温度計	セットにより２～４組位
④ボール又は洗面器・バケツ等	10コ位
⑤干しひも（5m位のもの）	２～３本
⑥食塩	セットにより70ｇ～5kg
⑦台所用中性液体洗剤	約300cc
⑧ミカノール（絞り染めフリーセットのみ）	

●生徒が持参するもの

①縫い針　1本	②指ぬき　1コ
③洗濯ばさみ　2コ	④ハサミ　1つ

<アドバイス>
染色は一人一人で染めるより色別に分けて、数名ずつグループで一緒に染めると効果的です。

ろうけつ染めをやってみよう！

1 下絵

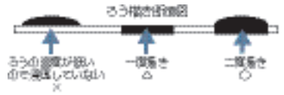
① 図案を写す。
② 消えるマーカーペンで淡く下絵を描く。

2 ろうの準備

① 布用ろうをろう容器に入れてとかす。
② ろうがとけたら、熱くならないうちに筆の穂先を熱にならす。
※ 筆の毛先をろう容器の底に触れさせないこと。

3 ろう描き

① 布の下に新聞紙を2～3枚しく。
② 筆ならし後、湯気が見える位になったらろう描きを始める。
③ 下絵の輪郭の上をろう描きする。
④ 一度描きでろうが布の裏へ染み透り、透明になるように描く。
⑤ 描いたろうが冷えたら二度描きして、ろうを平均に厚くする。



4 水に浸す

ろう描きした布を水に浸して、ろうに少し亀裂を入れる。

5 染め液を作る

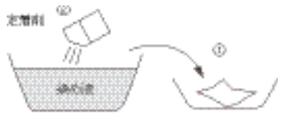
① 塩をㇰに加え、よくかきまぜる。
②の容器に染をとかしてに入れる。

6 浸し染め

水に浸した布をㇰに入れ布が広がるようにかきまぜながら、約20分染める。
※ 染色用手袋をはめて、手でかきまぜた方がよい。
※ 染色中に乱暴に扱うと亀裂が入りすぎて失敗します。

7 定着剤を入れる

① 約20分染めたら、布を1度引き上げる。
② 定着剤を染め液に入れかきまぜる。



8 地染め

① 再び布を入れて、かきまぜながら約20分染める。
② 染め終わったら取り出し水洗いする。

9 ソーピング

① 熱湯に台所用中性液体洗剤を少量とかす。

② 水洗いした布を入れ約5分間煮洗いする。

10 仕上げ

① 更に水洗いし、かげ干しで乾かす。
② アイロンをかけて仕上げる。

ソーピング後のろうの処理方法
ろうが冷えて固まったら取り出し、新聞紙等に包んで燃えるゴミとして処理してください。

実習に必要なもの（p144参照）

●学校で準備するもの…40名を基準として

①消えるマーカーペン	40本
②電子ろう容器	10コ位
③染色器（25ℓ）	セットにより４～８コ位
④耐熱容器（１ℓ位）・温度計	セットにより４～８組位
⑤染色用手袋	5双～10双
⑥ボール又は洗面器・バケツ等	10コ位
⑦干しひも（5m位のもの）	４～５本
⑧食塩	セットにより1.5ｇ～5kg
⑨台所用中性液体洗剤	約300cc
⑩布用ろう（30ｇ）	20～30コ位

●生徒が持参するもの

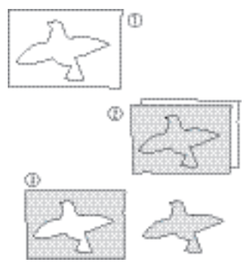
①鉛筆（2B）　1本	②新聞紙　3枚
③洗濯ばさみ　2コ	

<アドバイス>
染色はグループで一緒に染める方が効率的ですが、ろうけつ染めは、ろう描き部分のろうがはがれ易くなるので、この「のれんセット」の場合であれば、染色器で6枚を染色手袋をはめた手でまぜながら染めることをおすすめします。

ステンシルをやってみよう！

1 シートの作り方

① 鉛筆でイラストを紙に描く。
② イラストの上に無地型紙シートをのせ油性ペンでイラストを写す。
③ イラストを固い台紙にのせてカッターで切り抜く。
※ 事前に型抜き済みのシートを使用の場合は上記の工程はなし。



2 ステンシルをする

① 新聞紙等の上にステンシルする布をのせ、その上にイラストシートをのせセロハンテープで四隅を固定する。
② パレット（小皿）に染料を少し入れる。
③ 小刷毛、又はスポンジに染料を少量つける。
（着色は淡い色より始める）
④ 染料の付け過ぎに注意し、イラストシートのふちから軽く、小刷毛、スポンジでたたきながら染める。
⑤ 着色が終わったら完全に乾かしてからゆっくりシートをはがす。

注意：染料は水でうすめない事。（うすめる場合はバインダーを使用する）

3 仕上げ

① 染料が乾いたのを確認してから当て布をしてアイロンをかける。

〔ステンシル用スポンジの使い方〕

① スポンジの中間部を輪ゴムで止める。
② 輪ゴムの上をセロハンテープで巻くと持ちやすくなります。
③ スポンジの頭の大きさを大・小に作っておくと便利です。
④ 使用後は水洗いすれば何度でも使用できます。水気がなくなってからご使用ください。

セットの他に実習に必要なもの（p145参照）

①カッターナイフ	②下絵書き用鉛筆
③新聞紙	④油性ペン

<アドバイス>
スポンジやハケは使い終わったらすぐに水でよく洗ってください。